

テサロニケ

第一

⑤

喜びと 感謝の土台

テサロニケ人への手紙第一 5章 終末の希望の上に

アウトライン

0. イントロダクション

I. 主の日の備え 1～11節

II. 主にある希望 12～28節

III. まとめと適用

義認・聖化・栄化

救いを喜びの根拠として



テサロニケへの手紙第一とは？

■ 著者 …使徒パウロ(書記テモテ)

■ 宛先 …テサロニケ教会

■ 執筆時期・場所

…コリント(最初の滞在中)


■ おもな目的 …終末論の補講
(召天者の救い)
信者への励まし



テサロニケへの教会とは？

- ギリシャ神話の神が名の由来
…偶像礼拝。性的乱れ。
- マケドニア州の要衝の町
ユダヤ人の会堂もあった
- 第二次宣教旅行でパウロが伝道。
教会が誕生。➡異邦人が中心。
- 貧しくも信仰熱心、愛の行いも。
マケドニア州にある教会の核に





I. 主の日の備え 1~11節

勧告 主の日 | テサ5:1~2

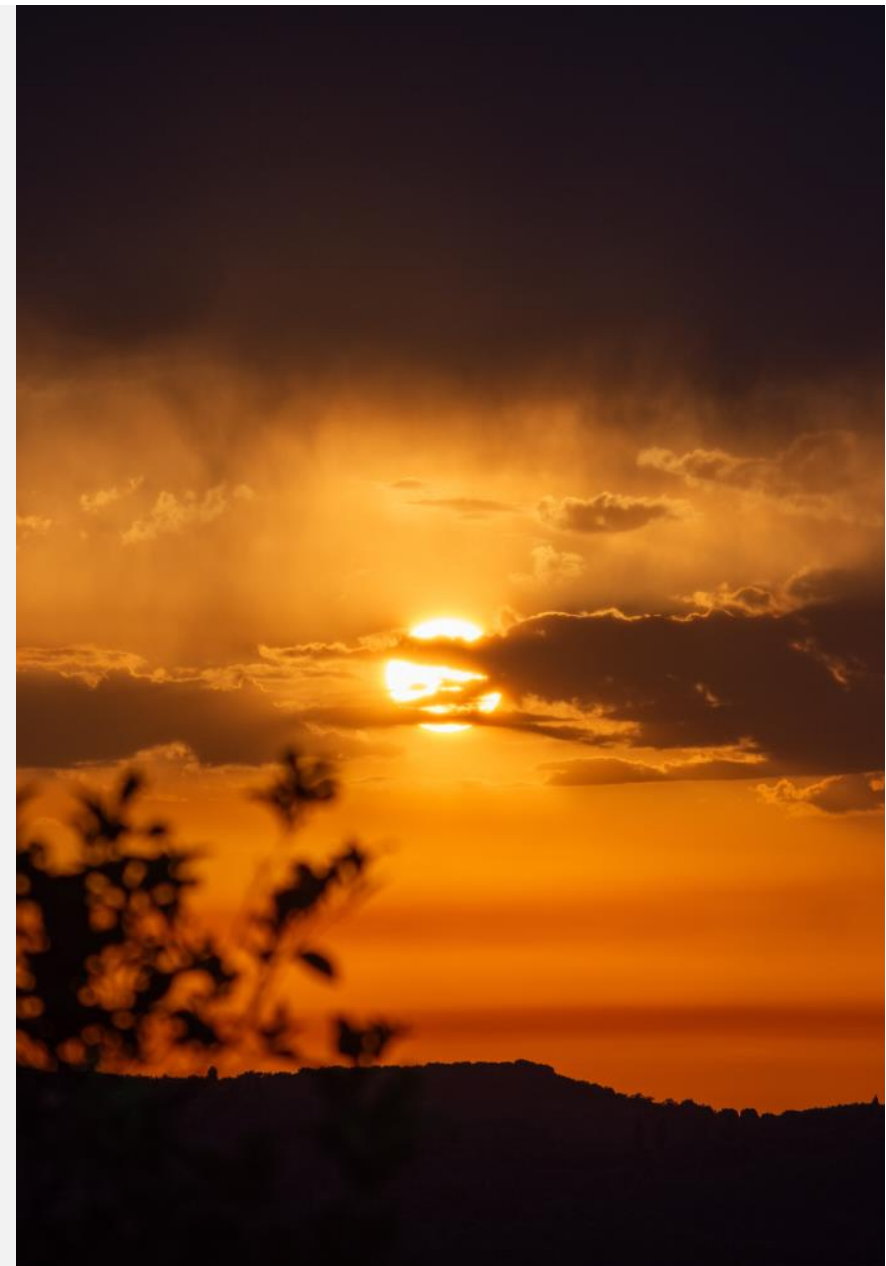
兄弟たち。その時と時期*については、あなたがたに書き送る必要はありません。

主の日*は、盗人が夜やって来るように来ることを、あなたがた自身よく知っているからです。

*携拳の時

*世の終わりの裁き(大艱難時代)

■ テサロニケで問題とされていたのは、携拳前に死んだ信者の復活について。



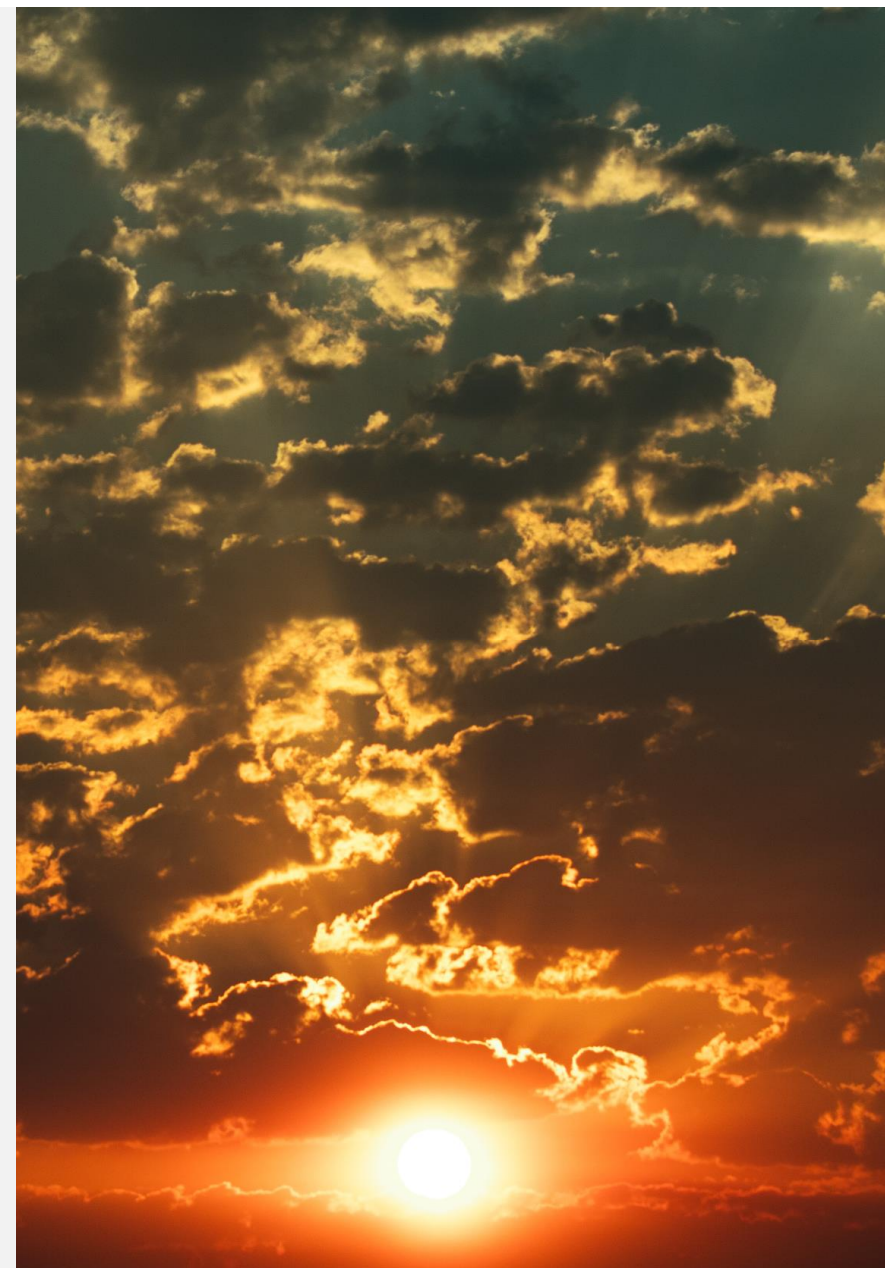
勧告 突然の破滅 | テサ5:3~4

人々が「平和だ、安全だ*」と言っているとき、妊婦に産みの苦しみが臨むように、突然の破滅が彼らを襲います。それを逃れることは決してできません。

しかし、兄弟たち。あなたがたは暗闇の中にいない*ので、その日が盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。

*反キリストとイスラエルの平和条約が、
大艱難時代の始まり

*信仰者は、すでに携挙されている

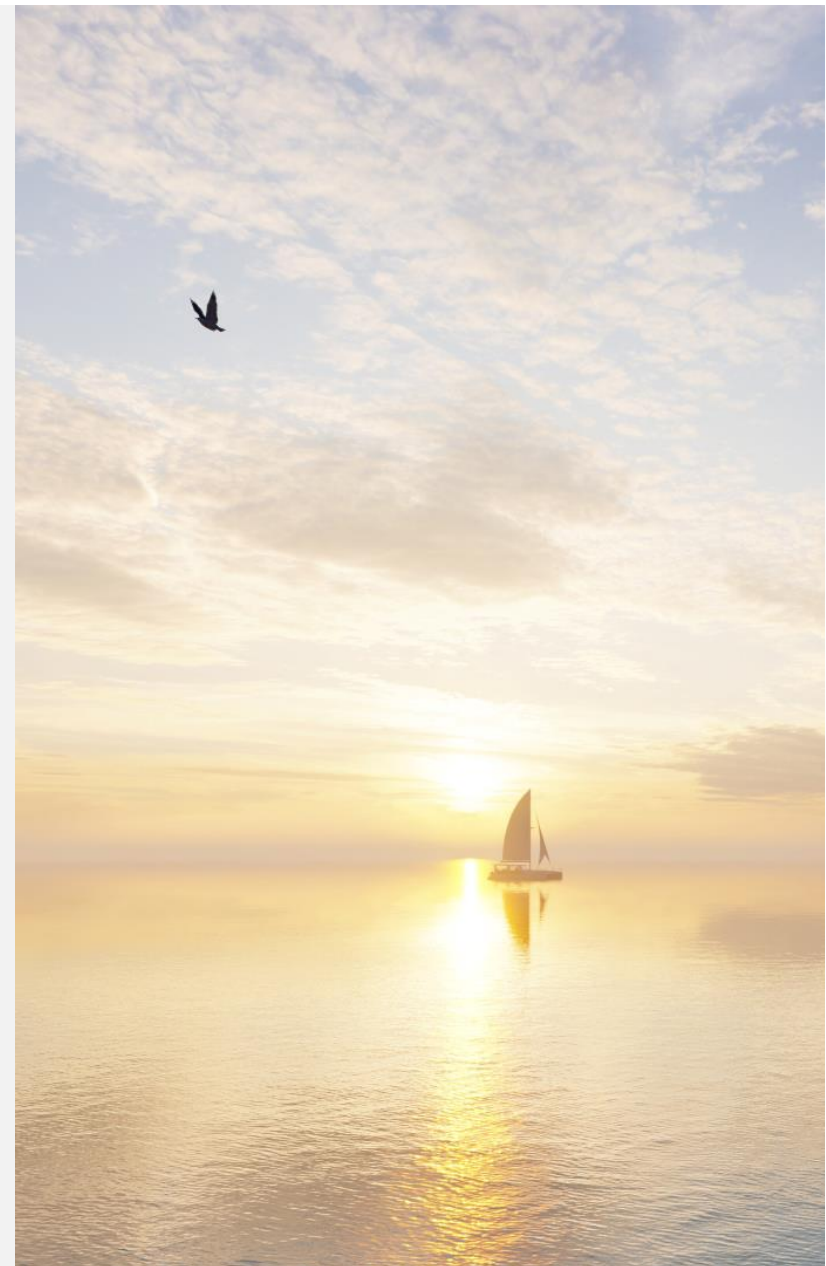


勧告 光の子 | テサ5:5

あなたがたはみな、**光の子ども**、**昼の子ども***なのです。私たちは夜の者、闇の者ではありません。

■ 信仰者は光の子、主の御手の内にある

「あなたがたは以前闇でしたが、今は、主にあって光となりました。**光の子ども***として歩みなさい。エペ5:8」



勧告 光の子 | テサ5:6~7

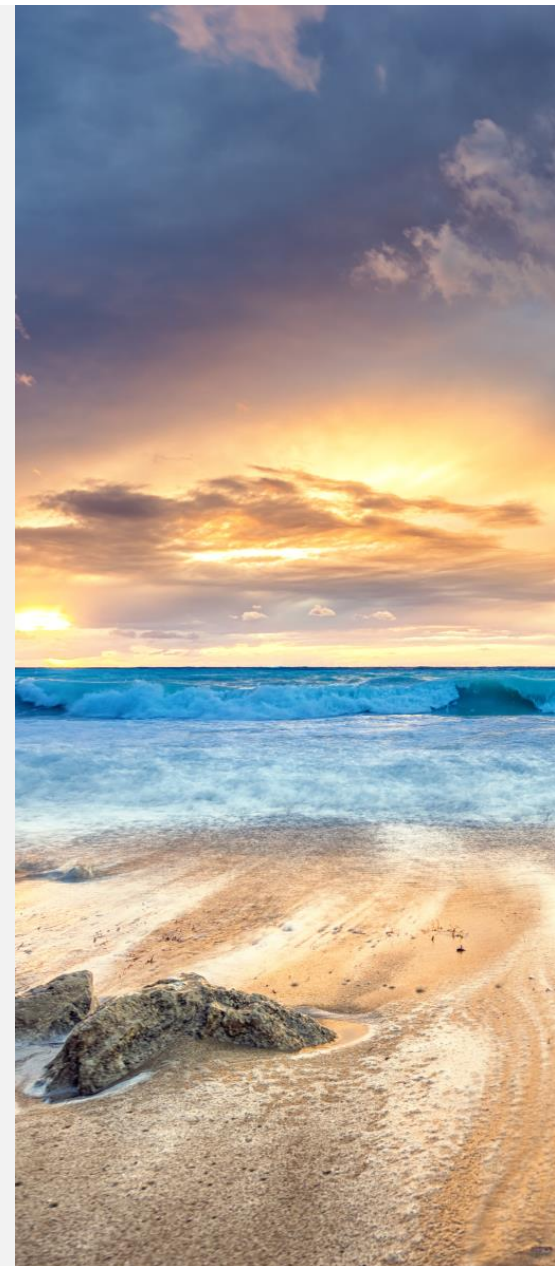
ですから、ほかの者たちのように眠っていないで*、目を覚まし、身を慎んで*いましょう。眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うのです。

*不信仰者は、靈的に閉ざされ眠った状態

*世の終わり、靈的戦いに求められる態度

「万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。 | ペテ4:7」

「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、吼えたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。 | ペテ5:8」



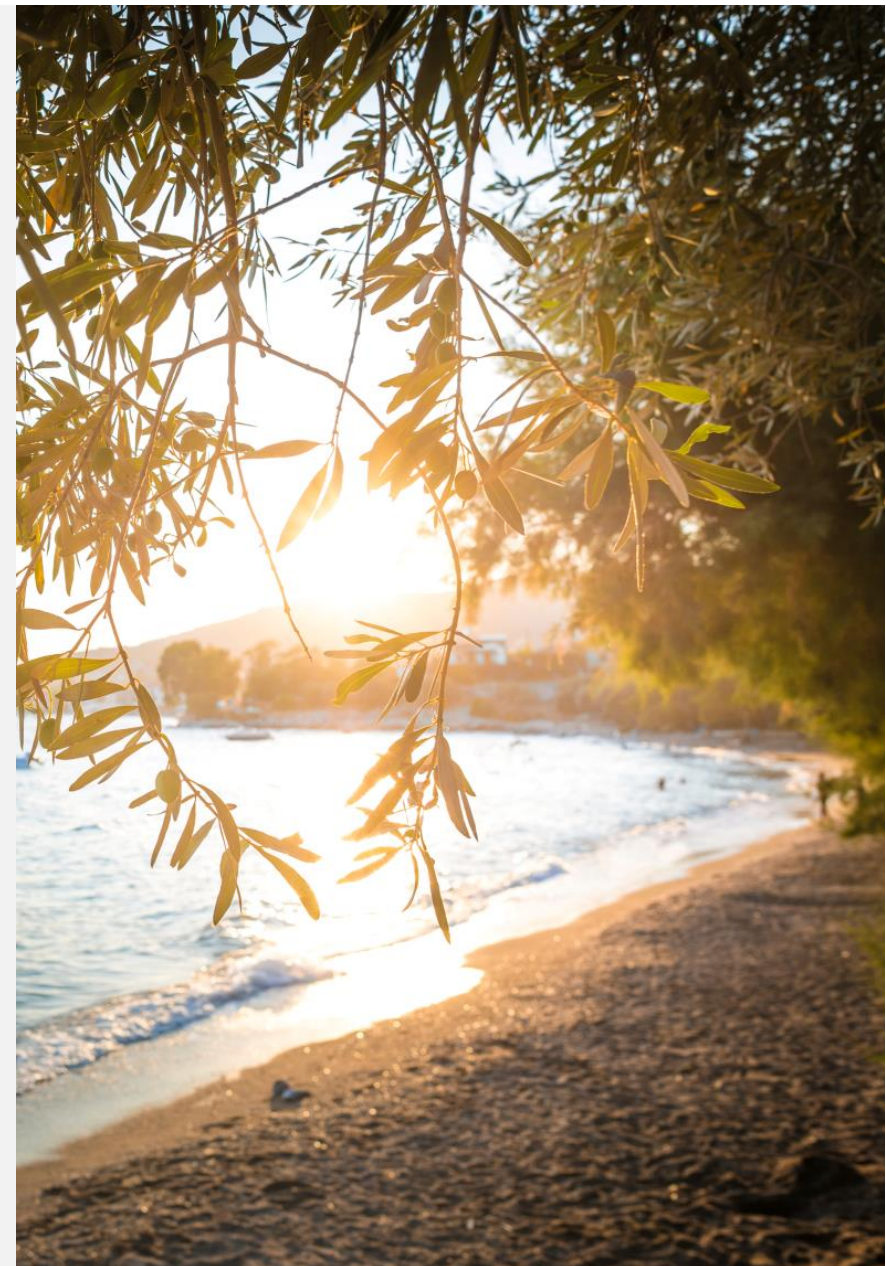
勧告 昼の者 | テサ5:8~9

しかし、私たちは昼の者なので、信仰と愛の胸当てを着け、救いの望みというかぶとをかぶり、身を慎んで*いましょう。

神は、私たちが御怒りを受けるようにではなく、主イエス・キリストによる救いを得るように定めてくださったからです。

*心身が主に支配されている状態

➔聖霊に満たされている



勧告 義認と聖化 | テサ5:10~11

主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目を覚ましていても眠っていても、**主とともに生きる***ようになるためです。

ですからあなたがたは、現に行っているとおりに、**互いに励まし合い、互いを高め合い***なさい。

* 義認された者は、共に聖化を歩む

救いは個人的体験で完結しない!!





Ⅱ. 主にある希望

12～28節

勸告 指導者への尊敬 | テサ5:12~13

兄弟たち、あなたがたにお願いします。
あなたがたの間で労苦し、主にあってあなたがたを指導し、訓戒している人たちを重んじ、その働きのゆえに、愛をもって、この上ない尊敬を払いなさい。また、お互いに平和を保ちなさい。

「よく指導している長老は、二倍の尊敬を受けるにふさわしいとしなさい。みことばと教えのために労苦ししている長老は特にそうです。 | テモ 5:17」



勧告

信者の務め | テサ5:14~15

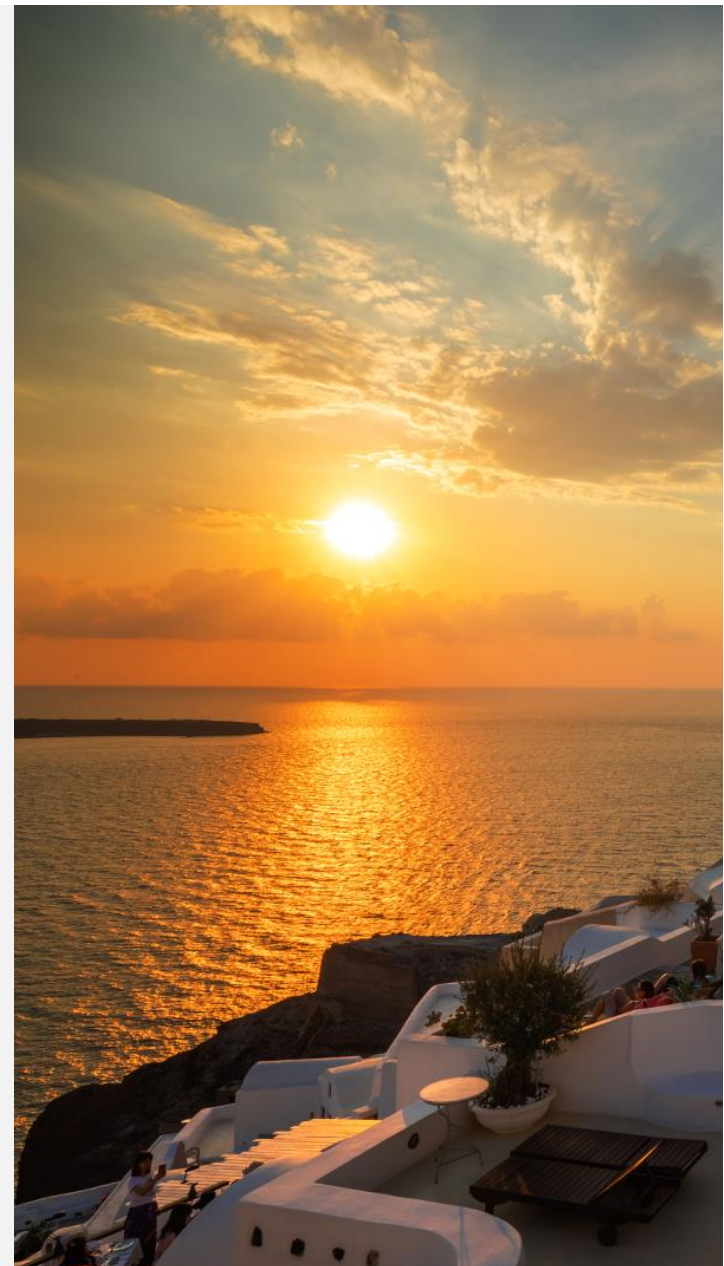
兄弟たち、あなたがたに勧めます。怠惰*な者を諭し、小心*な者を励まし、弱い*者の世話をし、すべての人に対して寛容*でありなさい。

だれも、悪に対して悪を返さないように気をつけ、互いの間で、またすべての人に対して、いつも善*を行うように努めなさい。

*信仰上の怠惰、小心、弱さ

*忍耐をもって育む。悔い改めとゆるし。

*主がよいとされること。主の命令。



勧告 喜びと感謝 | テサ5:16~18

いつも喜んでいなさい。

絶えず祈りなさい。

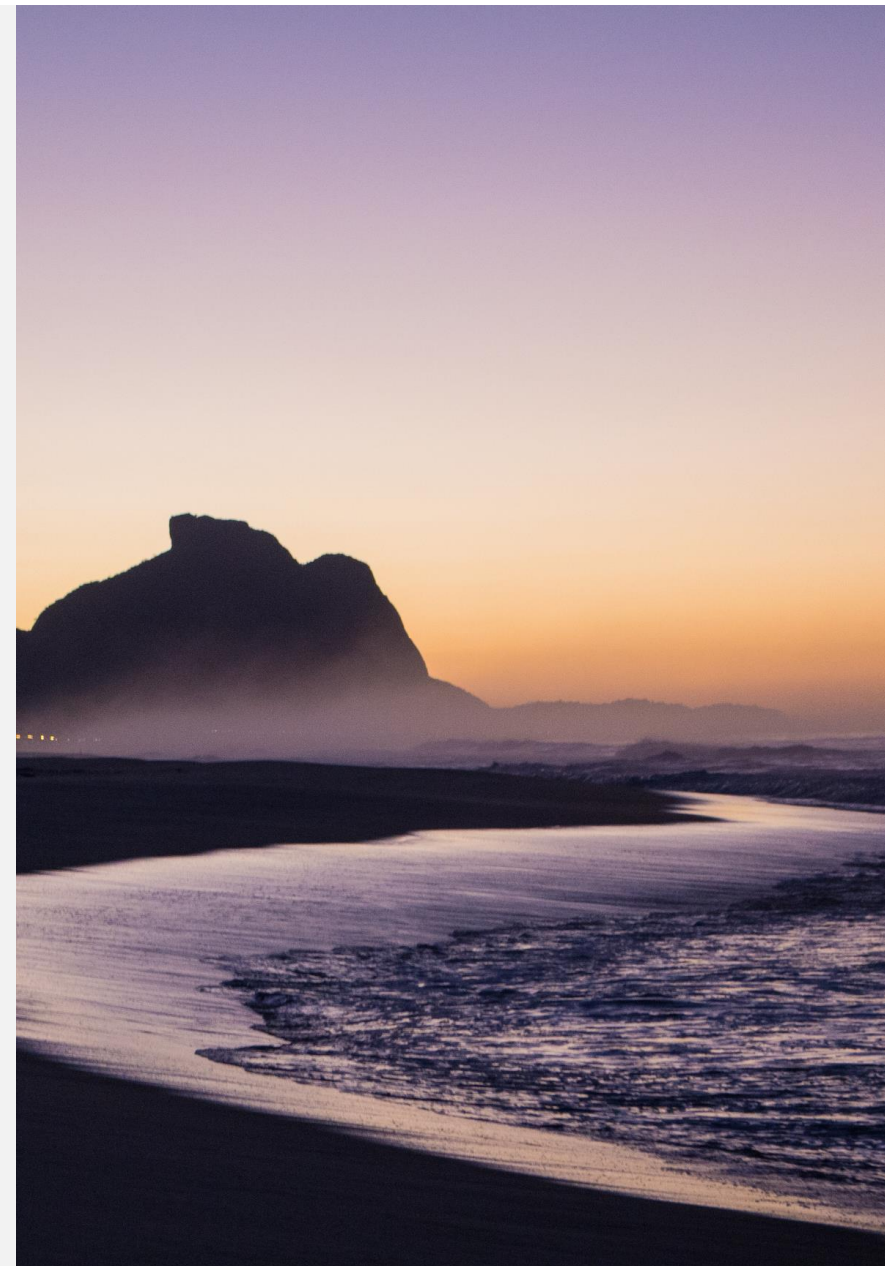
すべてのことにおいて感謝しなさい。

これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

■ 喜び、感謝の土台は、主の永遠の約束。

→ 艱難を免れ、栄光の体を与えられ、
光の子として永遠の王国に招かれる。

終末的希望あつての喜びと感謝



勧告 御霊と預言 | テサ5:19~22

御霊を消してはいけません。

預言を軽んじてはいけません。

ただし、すべてを吟味し、良いものはしっかり保ちなさい。

あらゆる形の悪*から離れなさい。

■ 私の内に御言葉が生きて働いているか？

■ 御言葉による吟味を絶やさないでいるか？

*悪は天使にすら偽装する(IIコリ11:14)

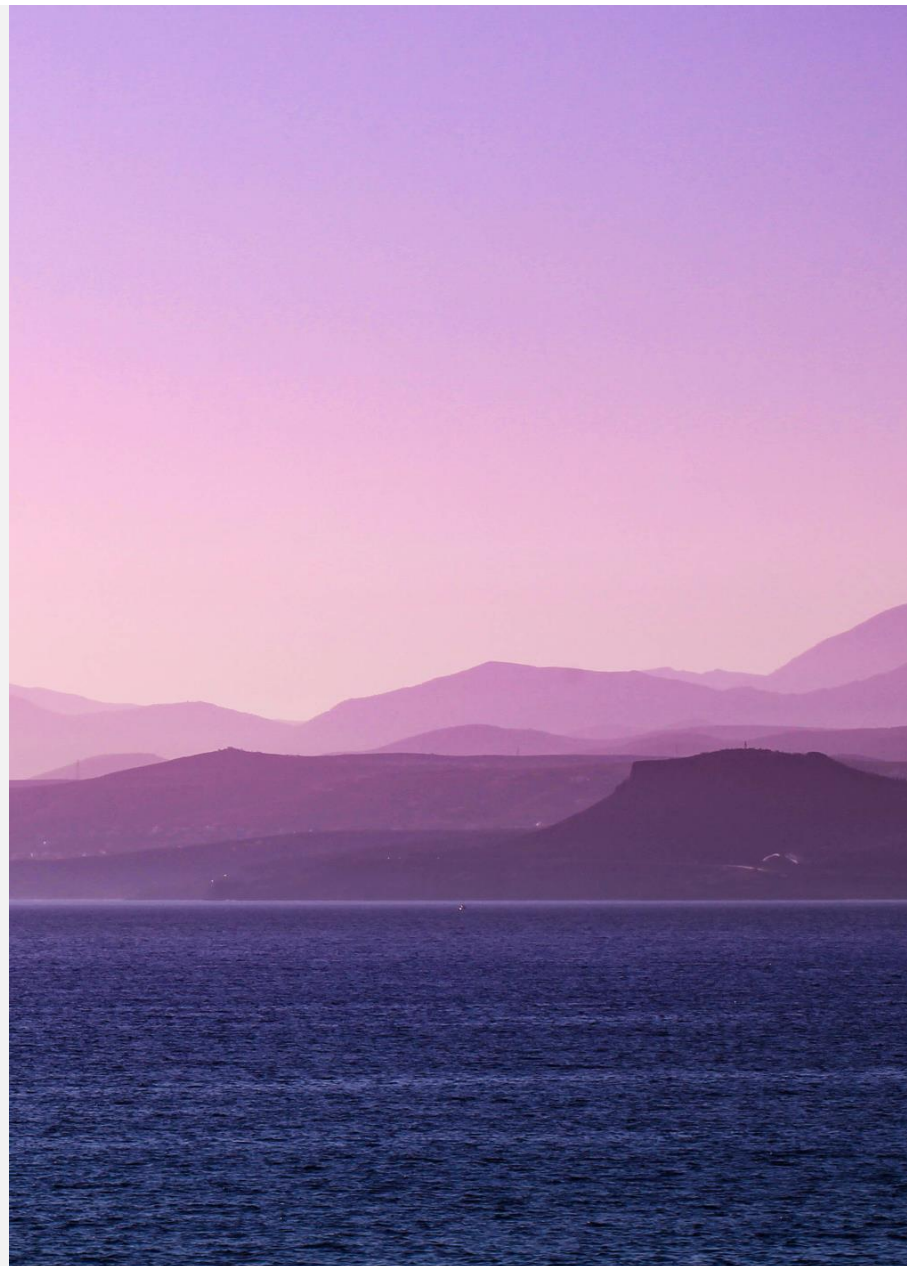
➡ 巧みにあらゆる形態をとるのが悪



勧告 救いの完成へ | テサ5:23

平和の神ご自身が、あなたがたを**完全に聖なるもの***としてくださいますように。あなたがたの霊、たましい、からだのすべてが、私たちの主イエス・キリストの来臨のときに、**責められるところのないもの***として保たれていますように。

- **救いの完成(栄化)**、永遠の救いは、
信仰の成長を続けていく、
聖化の課程を通してのみ、確認できる。



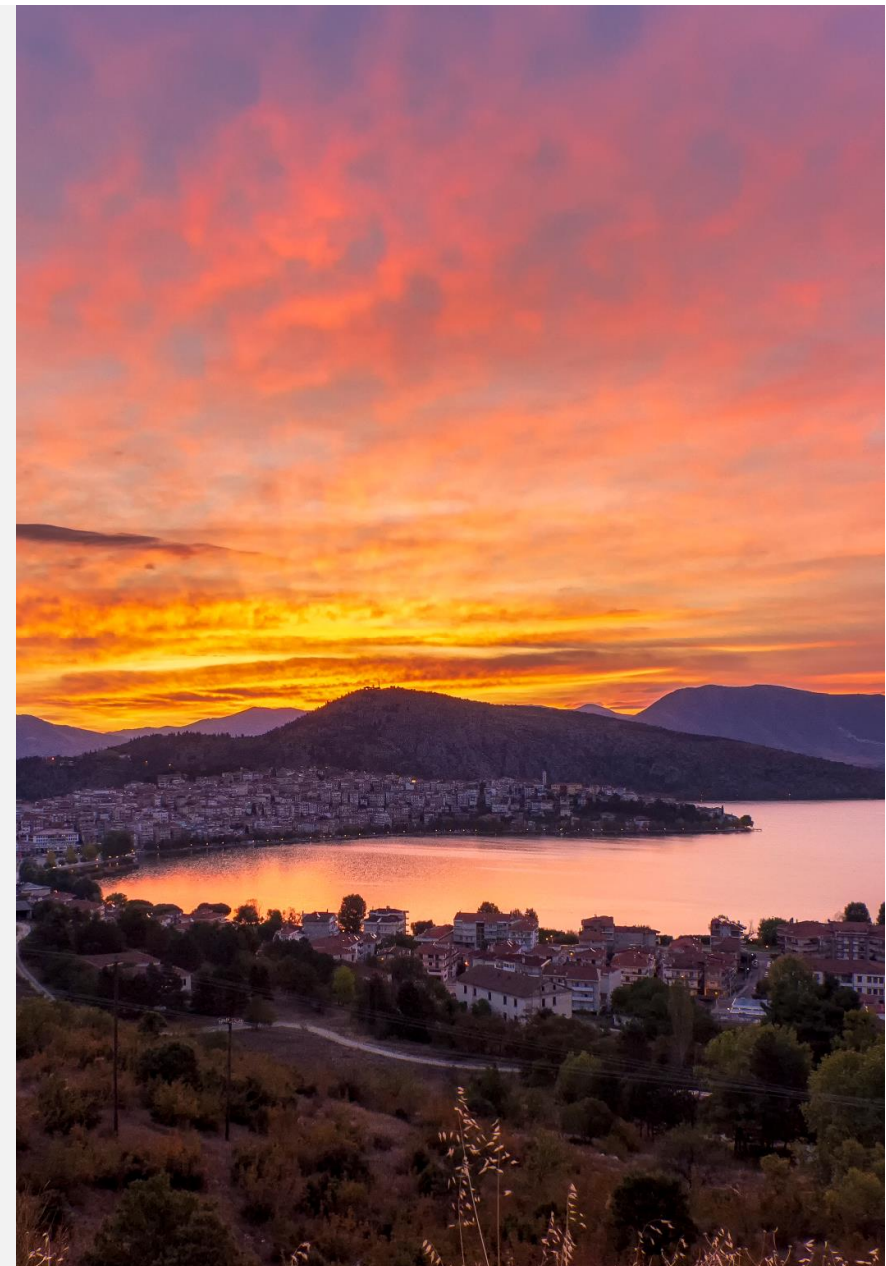
勧告 聖なる口づけ | テサ5:24~26

あなたがたを召された方は真実ですから、
そのように*してください。

兄弟たち、私たちのためにも祈ってください。
すべての兄弟たちに、聖なる口づけ*
をもってあいさつをなさいます。

*主が救いを完成される。

*当時の慣習だった口づけを超えて、
信者の霊的交わりを促すもの



勧告 命令 | テサ5:27~28

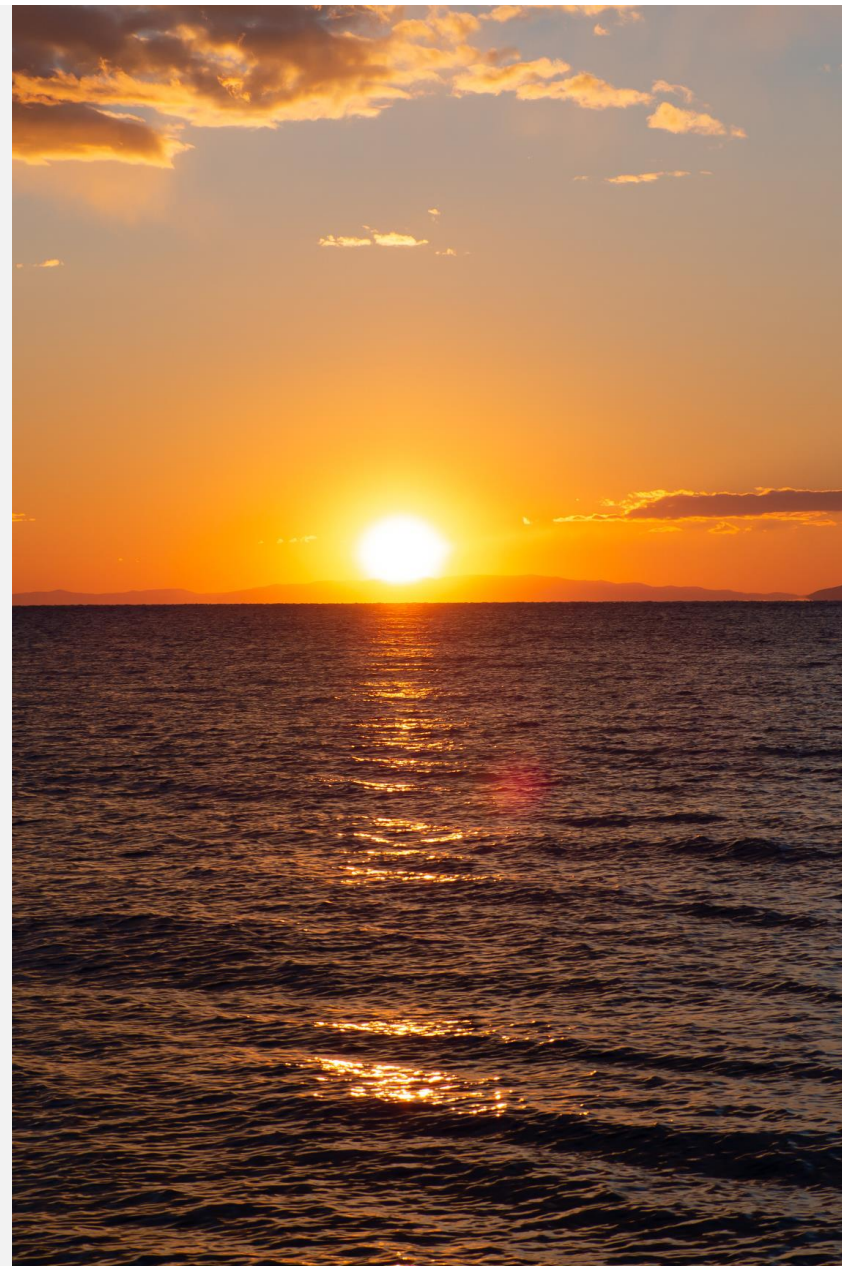
この手紙をすべての兄弟たちに読んで聞かせるよう*、私は主によって堅く命じます。

私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたとともにありますように。

*この手紙だけに記された命令

➡携挙から始まる終末的希望は、
全信者が学び、身につけるべきこと

終末的希望が信仰生活の土台

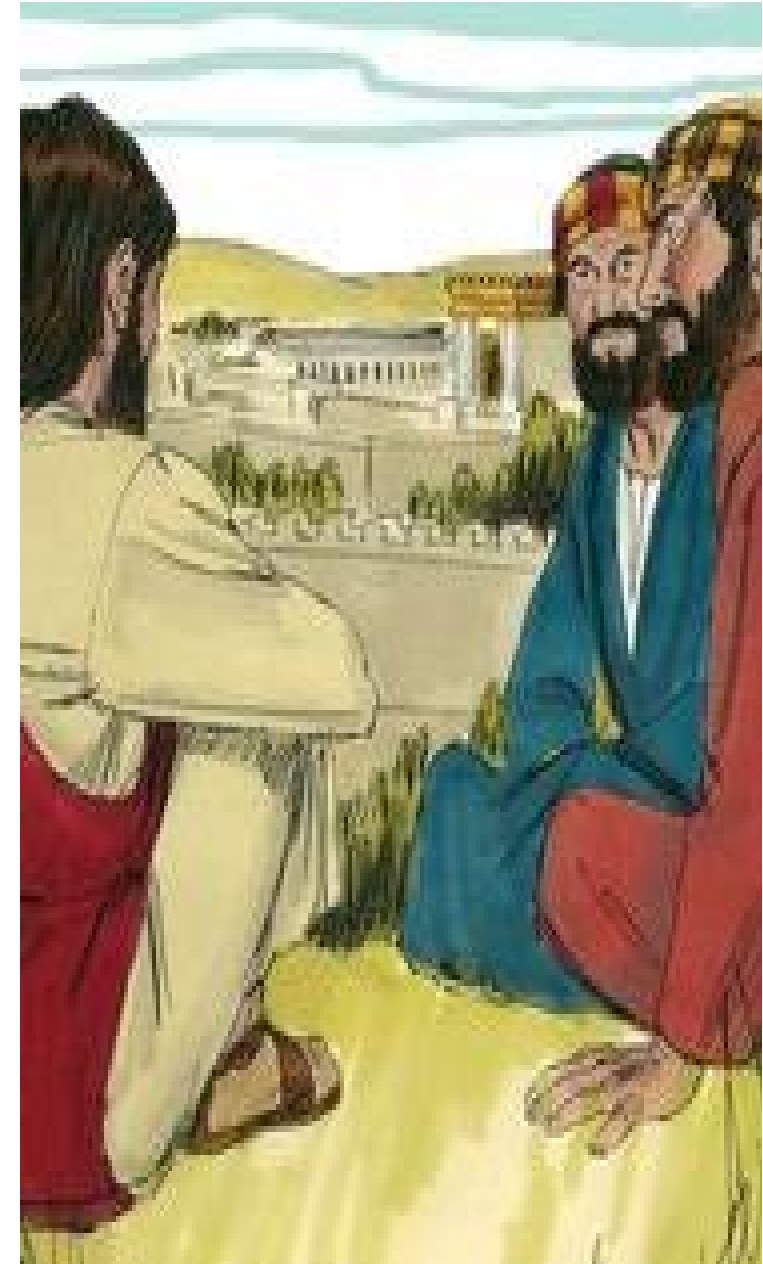




Ⅲ. まとめと適用 義認・聖化・栄化 救いを喜びの根拠として

今はどんな時代？

- 主イエスは、十字架でサタンに勝利。昇天し、大祭司として神の右の座に。
- メシアは、王として地上に來られていない。
→ サタンが不法に世界を支配
- 終末に向けて、状況は悪化していく。
「方々で戦争が起こり、偽キリストが大勢現れる。」
※主イエスの警告(マタイ24:5~6)



世界の大リフォーム・大患難時代

大患難時代は、世界の大リフォーム

→主が世界を新しく造り変えられる

大リフォーム中に家に残っていたら？

大患難時代に地上に残されたら、

世界の大リフォームに飲み込まれる!!





家をリフォームするとき
住んでる人は、まずどうする？



? リフォームが終わったら?
? 新しくなった家にもどります!



世界の大リフォーム前の引っ越し・^{けいきよ}携挙

だいかんなんじだい

■ 大患難時代の大リフォームが始まる前に、
主が、信じる人を天に**引っ越し**させる!!

^{けいきよ}
→ **携挙**

■ のこされた人たちは、
世界の**大リフォーム**にまきこまれる!!

だいかんなんじだい
→ **大患難時代**



大リフォーム・大患難時代の終わり

■大患難時代の最後、イスラエルが悔い改めて、イエスがメシアだと信じる。

→主イエス様が栄光の姿で戻られ、世界を裁かれる。**(再臨)**



■**携挙**された人は、旧約時代の聖徒たちと大患難時代に信じた人々と共に、造り変えられた世界に、イエスと住む♪



主イエスの約束

黙示録 3:10~11

「あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、**全世界に来よう**としている**試練の時**には、あなたを守ろう」

- 信じた人は、**大艱難時代**から守られる。
 - 世界の大リフォームの前に**引っ越し**
 - 再臨まで**天のイエスのもと**に!!



携挙(けいきょ)

終末の三つの段階

① 携挙

★ 真の信仰者が天のイエスのもとに挙げられる (空中再臨)
復活の体を与えられる → 天上の礼拝

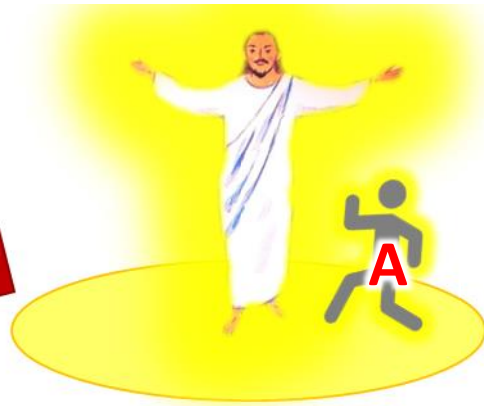
② 艱難

★ 反キリストがイスラエルと7年間の契約を結ぶ
空前絶後の神の裁きが三段階で下る
14万4千人のユダヤ人による世界宣教・大リバイバル
★ 後半、イスラエルの大迫害 → ハルマゲドン(最終戦争)

③ 再臨

★ 生き残ったイスラエルが民族的回心に至る
★ 栄光の主イエスが再臨 → 羊と山羊の裁き
エルサレムの再建 → 神の王国の建設

【パラダイス】



キリストの
さいりん
再臨



せんねんおうこく
【千年王国】



けいきよ
教会の携挙



だいかんなんじだい
【大患難時代・7年間】



【陰府(よみ)】

【今の時代】

信仰者の喜びの根拠

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。Ⅰテサ5:16~18」

- 主イエスの命令の根拠が、「信仰による救い(義認→聖化→栄化)」福音を信じて義と認められ、信じ続ける課程で変えられ成長し、栄光の体を与えられ、神の王国に永遠に住む。

救いを喜び、試練の中で成長を求めて祈り、
すべてを支配し完成される主に感謝する。

★ 信仰者に備えられた恵みの道 ★

- 継続した喜びは、聖化の道を歩み続ける中で与えられる。
試練の中の希望は、主が約束された救いの完成・栄化。
- たとえつまずいても、主を仰ぎ見れば、引き上げてくださる。
打ち砕かれた身で、真実に、率直に、主に悔い改めよう。
- 身もだえするような日々の中で、主の御約束と御言葉に生きよう。
挑戦と失敗の繰り返しの中で、御霊が私を満たし、育んでいく。

携拳と栄化を希望に、聖化の道を歩み続けていこう

私たちが共に味わい続けていくべき、救いの恵み

■テサロニケの手紙第一5:10~11

主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目を覚ましていても眠っていても、主とともに生きるようになるためです。

ですからあなたがたは、現に行っているとおおり、互いに励まし合い、互いを高め合いなさい。

互いに励まし合いつつ、主とともに生きよう

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活したこと、を信じます。

わたし しんこう かんせい しゅ やくそく
私の信仰の完成を、主が約束してくださっていますが、

えいか へだ わたし ひび げんじつ
栄化のゴールからは、あまりにも隔たった私の日々の現実があります。

う くだ たび しゅ た かせ
打ち砕かれる度に、主に立ち返っていくことができますように。

みたま み つか めぐ あじ
御霊で満たし、遣わしてください。さらなる恵みを味わわせてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」